目次

編集にあたって　姜尚中
巻頭言　青山　亨
凡例

第1章　ティムール帝国とイスラーム都市文化　堀川　徹

はじめに……003
ティムール（一三三六～一四〇五）……006
一、ティムール政権の確立　政権の奪取／政権の確立
二、大征服と支配領域の拡大　西方への遠征／トクタミシュ（？～一四〇六）：北のライヴァル／インド遠征と七年戦役／バヤズィト一世（在位一三八九～一四〇三）：西の雄
三、マー・ワラー・アンナフルの充実　ティムールという人物／クラヴィホ（？～一四一二）／イブン・アラブシャー（一三八九～一四五〇）／ティムールの政策
四、後継者の時代　シャー・ルフ政権／シャー・ルフ（在位一四〇九～四七）／ウルグ・ベグ（在位一四四七～四九）／アリー・クシュチ（一四〇三頃～七四）／アブー・サイードとサマルカンド政権／アブー・サイード（在位一四五一～六九）／ウズン・ハサン（在位一四五三～七八）／バハーウッディーン・ナクシュバンド（一三一八～八九）／スルターン・フサインとヘラート政権／スルターン・フサイン・ミールザー（在位一四六九、一四七〇～一五〇六）／ミール・アリー・シール・ナヴァーイー（一四四一～一五〇一）／ジャーミー（一四一四～九二）／ビフザード（？～一五三六／七）
その他の人物……066
サイイド・バラカ／サライ・ムルク・ハヌム（ビビ・ハヌム）／タフターザーニー／アフマド・ヤサヴィー／ヤズディー／シャムスッディーン・クラール／ゼンギーアタ／ヌールッディーン・ムハンマド・ニーマトゥッラー・ワリー／カラ・ユースフ／カーディーザーデ・ルーミー／ギヤースッディーン・ジャムシード・カーシー

第2章　高麗から朝鮮へ——武から文へのシフト　吉田光男

はじめに……071

李成桂（一三三五～一四〇八）……075
国王にあらざる国王の誕生／北の武人／威化島の回軍／曹敏修の没落／高麗王家の終焉／新王朝の開創／不安な船出／明洪武帝の不信／漢城への遷都／李芳遠と鄭道伝の対立／第一次王子の乱／第二次王子の乱／仏教への沈潜／趙思義の乱／太宗との和解と最期の日

世祖（一四一七～六八）……092
世祖と死六臣／操り人形端宗／金宗瑞派との闘い／癸酉靖難／国王となる／復位運動と端宗の死／国王専制／『経国大典』の編纂／東アジア国際社会のなかで／篤実な仏教徒として／最期のとき

李芳遠（一三六七～一四二二）……105

鄭道伝（一三四二～九八）……111

鄭夢周（一三三七～九二）……116

世宗（一三九七～一四五〇）……118

その他の人物……120
崔瑩／趙浚／李豆蘭／定宗／宋希璟／朴瑞生／足利義満／宗貞盛／大内義弘／察度／尚巴志／洪武帝／端宗／金宗瑞／皇甫仁／申叔舟／韓明澮／鄭麟趾／成三問／兪応孚／南孝温

第3章

日本伝統文化形成期の室町殿たち

橋本　雄

はじめに……131

足利義満（一三五八～一四〇八）……133
一、朝廷で栄華・栄達を遂げる足利義満　足利義満の登場と朝廷デビュー／義満の京都支配と幕府財政／「室町殿家司」体制と五山・十刹の制／ライバル後円融院の権威失墜
二、公武一体と全国平定　女系で結ばれた公武関係／宗教空間の行脚とその目的／南北朝の合一と有力守護の反乱
三、「日本国王」冊封と日明勘合貿易　北山殿の造営／立ちはだかる「日本国王良懐」の壁／念願の日明国交成就、勘合貿易の開始へ

足利義政（一四三六～九〇）……153
一、足利義政の登場と治世　嘉吉の乱と足利義政の家督継承／幕府財政の再建／日明貿易の展開
二、幕政の混乱と義政の退場　応仁・文明の乱／東山殿義政の退場とその後

雪舟等楊（一四二〇～一五〇二／〇六?）……163

その他の人物……168

二条良基／今川了俊／絶海中津／世阿弥／足利義持／足利義教

第4章　古琉球の興亡——中華世界との交流を中心に　前田舟子

はじめに……183
尚巴志（一三七二～一四三九）……186
琉球の登場／尚巴志の三山統一／明朝への入貢／実施されなかった官生派遣／尚巴志の国家づくり
尚泰久（一四一五～六〇）……195
焼失した首里城／志魯・布里の乱／尚泰久の入貢／護佐丸・阿麻和利の乱／尚泰久と仏教
尚真（一四六五～一五二六）……204
鄭迥（一五四九～一六一一）……208

第5章　北元と明、ユーラシア大陸東部の分裂　川越泰博

はじめに……219
藍玉（?～一三九三）……222
一、藍玉の獄はいかにして起きたか？　乞食僧から皇帝になった太祖朱元璋／皇太子急死の衝撃／藍玉の獄の前景
二、藍玉とはどんな人？　藍玉の武功と醜聞と姻戚関係と／犠牲者と連鎖のメカニズム
三、藍玉の獄はいかなる影響を生んだか？　建文帝の諸王いじめ／燕王の忍従と挙兵／小が大を食う靖難の役
四、明朝と北元——第三次南北朝の時代だった　北元の盛衰と明朝／第三次南北朝時代の出現
太祖（一三二八～九八）……250
順帝（トゴン・テムル）（一三二〇～七〇）……256
徐達（一三三二～八五）……258
その他の人物……262
郭子興／韓林児／陳友諒／張士誠／常遇春／宋濂／劉基／馬皇后／懿文太子／蜀王椿／胡惟庸／李善長／潭王梓／王行／建文帝／

燕王棣（永楽帝）／劉三吾／黄子澄／方孝孺／李景隆／アユルシリダラ（愛猷識理達臘）／トグス・テムル（脱古思帖木児）／ナガチュ（納哈出）／ココ・テムル（拡廓帖木児）／エセン（也先）／英宗／楊士奇／王振／石亨／徐有貞

第6章 ポスト・モンゴルにおける中華新秩序の形成と大航海 荷見守義

はじめに …… 279

鄭和（一三七一～一四三四頃） …… 284

一、第一期――馬和の時代　鄭和の生い立ちと馬哈只の命運／火者から宦官へ／靖難の役／内侍と靖難の役／南京入城

二、第二期――鄭和の時代　順逆の永楽政権と外交／外交と宦官と倭寇／永楽政権と鄭和の選任／鄭和大艦隊の構造と軍事行動／永楽政権の対外展開と鄭和の第一次～第三次大航海／永楽帝の北京遷都と鄭和の第四次～第六次大航海／永楽後と鄭和の第七次大航海／鄭和の大航海とはなんだったのか

永楽帝（一三六〇～一四二四） …… 314

傅友徳（?～一三九四） …… 318

亦失哈（生没年不詳） …… 320

その他の人物 …… 324

建文帝（朱允炆）／洪熙帝（朱高熾）／宣徳帝（朱瞻基）／漢王朱高煦／趙王朱高燧／道衍（姚広孝）／金忠／袁珙／袁珪／袁忠徹／張玉／張輔／朱能／丘福／劉江／王友／傅安／陳誠／沐英／沐春／沐晟／沐昂／夏原吉／李至剛／楊栄／金幼孜／楊士奇／李時勉

第7章 東アジアの中の陽明学――人間への信頼と強い正義感 小島毅

はじめに …… 341

王守仁（王陽明）（一四七二～一五二八） …… 347

生涯／弟子たちに教えた内容／内容解説／朱子学との違い／朱子学との共有基盤／万物一体の仁

王畿（一四九八～一五八三） …… 362

李贄（一五二七～一六〇二）……364
馮夢龍（一五七四～一六四六）……366
中江藤樹（一六〇八～四八）……367
三島中洲（一八三〇～一九一九）……369
大川周明（一八八六～一九五七）……370
牟宗三（一九〇九～九五）……372
その他の人物……375
薛瑄／丘濬／陳献章／林希元／王艮／聶豹／黄佐／鄒守益／劉宗周／鄭斉斗／三輪執斎／佐藤一斎／大塩中斎／山田方谷／井上哲次郎／三宅雪嶺／安岡正篤／三島由紀夫／熊十力／唐君毅

第8章　新しい帝国の出現――「征服の父」メフメト二世

林佳世子

はじめに……385
メフメト二世（一四三二～八一）……386
一、誕生
二、最初の即位と退位
三、二度目の即位と兄弟殺し
四、コンスタンティノープル征服
五、イスタンブル再建事業
六、戦いの日々へ
七、セルビア、エーゲ海、モレアでの戦い（一四五四～六〇）
八、黒海沿岸地方の征服（一四六一）
九、ワラキア、ボスニア、アルバニア（一四六二～六七）
一〇、中央アナトリア（一四六四～七四）
一一、黒海北岸（一四七五～七六）
一二、アルバニア戦線とヴェネチアとの和議（一四七七～八〇）
一三、メフメト二世の死と後継争い
一四、人物像
バヤズィト二世（一四四七～一五一二）……410
ジェム王子（一四五九～九五）……412
ムラト二世（一四〇四～五一）……416
マフムト・パシャ（？～一四七四）……418
イスケンデル公（スカンデルベグ）（一四〇五～六八）……420
ウズン・ハサン（一四二五～七八）……423
その他の人物……425

チャンダルル・ハリル・パシャ／ザガノス・パシャ／ルム・メフメト・パシャ／
ゲディク・アフメト・パシャ／カラマーニー・メフメト・パシャ／
コンスタンティヌス一一世／ゲンナディオス二世／ヤーノシュ・フニャディ／
ヴラド三世／アーシュクパシャザーデ／クリトブロス／トゥルスン・ベイ／
アリ・クシュチュ／アク・シェムセッティン／ジェンティーレ・ベッリーニ

第9章 ムガル朝の創設者バーブル
——その波乱に満ちた生涯と人間的魅力

間野英二

はじめに …… 437
バーブル（一四八三～一五三〇） …… 443
一、バーブルの生涯　中央アジア時代（一四八三～一五〇四）／アフガニスタン時代（一五〇四～二六）／インド時代（一五二六～三〇）
二、文人君主としてのバーブル
三、バーブルの人間的魅力
四、バーブルを取り巻いた女性たち
シャイバーニー・ハン（一四五一～一五一〇） …… 479
ホージャ・アフラール（一四〇四～九〇） …… 482
スルタン・サイード・ハン（一四八七～一五三三） …… 484
シャー・イスマーイール（一四八七～一五二四） …… 485
ウマル・シャイフ・ミールザー（一四五六～九四） …… 487
ユーヌス・ハン（一四一五／六～八七） …… 489
ホスロー・シャー（?～一五〇五） …… 490
フマーユーン（一五〇八～五六） …… 492
ミールザー・ハイダル（一四九九／一五〇〇～一五五一） …… 496
シャー・ベギム（生没年不詳） …… 497
その他の人物 …… 499
スルタン・マフムード・ハン／クトゥルク・ニガール・ハニム／
スルタン・アフマド・ミールザー／イセン・ダウラト・ベギム／
バイスングル・ミールザー／スルタン・アフマド・タンバル／
ウバイドゥッラー・ハン／スルタン・イブラーヒーム／
ラーナー・サンガー／カースィム・ベグ／スルタン・フサイン・ミールザー／
ヌール・ジャハーン／ムムターズ・マハル

第10章　ユーラシア史における北虜南倭

上田　信

はじめに……509

王直（?～一五六〇）……515
売国奴か民間貿易の先駆者か／徽州商人／塩商／コンベルソ／盗道／五峯／経紀／儒生／覇者／海寇／倭寇

アルタン・ハーン（一五〇七～八二）……536
蛮族の首領か菩薩の化身か／北元／オイラトのエセン／貴種流離譚／モンゴル中興／右翼の指導者／全モンゴルの統治者／モンゴルから見た隆慶和議／フビライ・ハーンを目指して

胡宗憲（一五一二～六五）……556

張居正（一五二五～八二）……562

その他の人物……566
朱厚熜（嘉靖帝）／厳嵩／鄭舜功／戚継光

第11章　東南アジアにおける上座部仏教的世界の形成

伊東利勝／川口洋史
釈　悟震／新谷春乃
北川香子／菊池陽子

はじめに……573

ダンマゼーディー（一四一七?～九二）……578
一、平民出身の国主　ダンマダラとダンマニャーナ／シンソーブと出会う／繁栄するペグー／ラーマ・アディパティ・ラージャ（ラーマの主権王）
二、政治権力による仏教浄化　スリランカの大寺派系僧伽／カルヤーニー戒壇の設置／これまでも試みられていた僧伽刷新／新僧伽の形成を通じて
三、エーヤーワディー流域地方の一五世紀　「地方」の時代／「民族」意識は皆無／交易の拠点／海外交易の独占
四、上座部仏教的政治体制の確立　多様な僧伽／財政への圧力／在家による僧伽の「浄化」／「上座部仏教社会」のはじまり／因果応報と自責の念

ラームカムヘーン（?～一二九九／一三一七）……598

リタイ（?～一三六九／七四頃）……602

ラーマ四世（モンクット）（一八〇四～六八）……604

キールティ・スリー・ラージャシンハ（一七三一～八二）……612

シソワット（一八四〇～一九二七）……621
チュオン・ナート（一八八三～一九六九）……625
その他の人物……631
アノーヤター／ボードーパヤー／マンラーイ／ティローカラート／アンバガハピティエー・ニャーナヴィマラ／アンバガハワッテー・インダーサバワラ・ニャーナサーミ／アン・ドゥオン／ファーグム／ケオケンニャー／サームセーンタイ／ウィスンララート／ポーティサーララート

第12章　東南アジアのイスラーム化　西尾寛治　菅原由美

はじめに……643
ムザッファル・シャー（？～一四五九頃）……651
ワリ・ソンゴ（一五～一六世紀）……654
「九人の聖者」／現在の九聖者
ヌールディン・アル・ラーニーリー（？～一六五八）……659
パラメスワラ（？～一四一三頃）……664
その他の人物……667
スルタン・マリクルサレー／アルブケルケ／ハムザ・ファンスーリー／尚真／ムガット・イスカンダル・シャー／永楽帝／鄭和／馬歓

第13章　ベトナムの儒教化　上田新也

はじめに……675
黎聖宗（一四四二～九七）……678
即位まで／黎聖宗期の制度改革／「小中華」帝国の成立／黎聖宗期の「儒教化」
范公著（一六〇〇～七五）……683
後期黎朝の政治構造／鄭柞麾下に入るまで（一六〇〇～四二）／鄭氏の幕僚として（一六四二～七五）

鄭桐（一六八六～一七二九）……688
黎貴惇（一七二六～八四）……690
その他の人物……691
黎利／胡嘉賓／明命帝

第14章　フィリピンのキリスト教化

菅谷成子

はじめに……695
ペドロ・バウティスタ・ブラスケス（一五四二～九七）……704
ロレンソ・ルイス（一六〇〇頃～三七）……709
イグナシア・デル・エスピリトゥ・サント（一六六三～一七四八）……713
ガスパール・アキノ・デ・ベレン（一七世紀後半～一八世紀前半）……715
マリアノ・ベルナベ・ピラピル（一七五九～一八一八）……716
アポリナリオ・デ・ラ・クルス（一八一五～四一）……718
ホセ・アポロニオ・ブルゴス（一八三七～七二）／
マリアノ・ゴメス（一七九九～一八七二）／**ハシント・サモラ**（一八三五～七二）……721
その他の人物……724
トマス西／ビセンテ塩塚／ペドロ・カルンソッド

執筆者一覧

写真提供・図版出典